

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大成小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	課題解決に必要な知識や技能の定着を図るために、ドリルパークなどのICTを活用しながら繰り返し取り組む。
思考・判断・表現	思考・判断・表現の力を育成するために、「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を行い、各教科の見方・考え方を身につける。また、自分の言葉で伝えたり、話し合ったりする場面を意図的に設定し、課題解決に向けたグループやペアでの活動の充実を図る。
主体的に学習に取り組む態度	意欲的に学習に取り組む力を育むために、課題設定場面で、児童と話し合いながら単元計画を立てる場面を充実させ、活動と学びの両面から見直しをもたせる。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和5年度さいたま市学習状況調査(国語)で、令和4年度の自校結果より3pt向上させる。	⇒ 「学び方」についての指導を具体的にすることで、児童が自分の学習内容の理解度を把握し、つまづきのある領域や内容に応じたプリントでの学習や「ドリルパーク」等を積極的に活用できるように支援する。
思考・判断・表現	令和5年度さいたま市学習状況調査(国語)で、令和4年度の自校より3pt向上させる。	⇒ 国語の学習において、学習した内容を生かして課題に取り組むことができるように、言語活動を設定する。学習した内容をもとに自分の考えを表現する機会を意図的に設定し、資料の示し方、声の抑揚や話すスピードなど基本的なスキルについて、発達段階に合わせて指導する。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査において、「国語の勉強は好きですか」と「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問項目において、令和4年度の回答より5%向上させる。	⇒ 4年生以上において、自分の課題に応じた学習計画を立てる時間を月に1回以上設定する。ICT機器を活用して、学習の成果について、児童同士や保護者からのフィードバックの機会を積極的に設ける。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	多くの学年において、令和5年度さいたま市学習状況調査(国語・算数・社会・理科 ※社会・理科は5、6年)で、市平均正答率を上回ることができた。(1~5pt)	B
思考・判断・表現	多くの学年において、令和5年度さいたま市学習状況調査(国語・算数・社会・理科 ※社会・理科は5、6年)で、市平均正答率を上回ることができた。(1~5pt)	B
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合が、令和4年度の値より下回った。(1~5pt)	C

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-3.8ptであった。日常よく使われる敬語を理解しているか選択する問題で、解答類型を見ると、「話す」の敬語は理解しているが、「聞く」の敬語を理解していない児童が見られた。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-1.8ptであった。資料からわかることをもとに、自分の考えをまとめる問題で、解答類型を見てみると、複数の条件がある中で、一部の条件を満たしていない児童が見られた。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の質問項目をR4年度の自校の結果と比較し、肯定的な回答の割合は「国語の勉強は好きですか」において+9pt、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」において+10.1であった。これまでの取組を継続し、より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	国語・算数ともに市平均正答率を下回った。教科領域別では、国語の「話すこと・聞くこと」で市平均正答率を上回ったが、そのほかの項目では、市平均正答率を下回った。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が令和4年度の値を上回った。また、「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が令和4年度の値より低かった。	小4	国語・算数ともに市平均正答率を上回った。教科領域別では、国語、算数ともにすべての項目において市平均正答率を上回った。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の質問に対する肯定的な回答が令和4年度の値より低かった。
小5	国語・算数・社会・理科すべての教科において市平均正答率を上回った。教科領域別では、算数で1項目、理科で2項目、市平均正答率を大きく上回った。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答が令和4年度の値より低く、「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答は令和4年度の値を上回った。	小6	国語・算数・社会・理科すべての教科において市平均正答率を上回った。教科領域別では、国語で1項目、理科で2項目、市平均正答率を大きく上回った。生活習慣に関する調査では、「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の質問に対する肯定的な回答が令和4年度の値より低かった。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし